



2022年12月23日

各 位

会 社 名 株式会社 REVOLUTION
 代表者の 代表取締役社長 ジョン・フー
 役職氏名 (コード番号 8894 東証スタンダード)
 問合せ先 取 締 役 津野浩志
 電話番号 083-229-8894

(訂正) 「2022年10月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

2022年12月15日に公表しました「2022年10月期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、下記のとおり一部を訂正いたします。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

(訂正前)

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,662,983	-	1,662,983	-	1,662,983
その他の収益(注)3	308,132	54,900	<u>308,132</u>	-	<u>308,132</u>
外部顧客への売上高	1,971,116	54,900	2,026,016	-	2,026,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,971,116	54,900	2,026,016	-	2,026,016
セグメント利益又は損失(△)	239,126	△2,936	236,189	△305,607	△69,417
セグメント資産	1,819,331	634,273	2,453,604	1,144,593	3,598,198
その他の項目					
減価償却費	24,672	1,189	25,861	7,977	33,839
減損損失	41,207	-	41,207	-	41,207
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	-	360	360	19,543	19,903

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△305,607千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,144,593千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

(訂正後)

当連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,662,983	-	1,662,983	-	1,662,983
その他の収益(注) 3	308,132	54,900	<u>363,033</u>	-	<u>363,033</u>
外部顧客への売上高	1,971,116	54,900	2,026,016	-	2,026,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,971,116	54,900	2,026,016	-	2,026,016
セグメント利益又は損失(△)	239,126	△2,936	236,189	△305,607	△69,417
セグメント資産	1,819,331	634,273	2,453,604	1,144,593	3,598,198
その他の項目					
減価償却費	24,672	1,189	25,861	7,977	33,839
減損損失	41,207	-	41,207	-	41,207
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	-	360	360	19,543	19,903

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△305,607千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,144,593千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。
- 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

以上